



文部科学省科学研究費助成事業「新学術領域研究」平成28－平成32年度

複合アニオン化合物の創製と新機能

2020年1月 公開シンポジウム

開催日時：2020年1月15日 13:15-17:00

会場：つくばグランドホテル, コンベンションホール

<https://tsukuba-grandhotel.co.jp/>

参加費：無料

複数のアニオンを同一化合物中に含む「複合アニオン化合物」が、新しい無機材料として注目を集めています。複合アニオン化合物は、異なる電気陰性度や分極率を持つ複数のアニオンの介在により、特異な配列秩序や局所構造、結晶構造が得られるため、従来の無機材料とは根源的に異なる革新的機能が現れることが期待できます。光触媒特性、超伝導性、蛍光特性、イオン伝導性、強誘電性、熱電特性などが創発することが明らかとなって研究者コミュニティも広がっており、無機化合物における次世代の“機能の宝庫”となるポテンシャルを秘めています。本シンポジウムでは、複合アニオン化合物による機能性材料開発の最新トピックについて、各分野の一線の研究者の先生方にご講演いただきます。

プログラム

13:15-13:20 開会挨拶

13:20-13:50 招待講演 東北大学 岡 大地

「直接堆積法による複合アニオン酸化物エピタキシャル薄膜の合成と物性」

13:50-14:05 東京大学 長谷川哲也

「酸フッ化物におけるイオン伝導と金属絶縁体転移」

14:05-14:20 大阪大学 越智正之

「酸水素化物の新しい電子状態 —理論計算の立場から—」

14:20-14:35 東京工業大学 松石 聡

「水素アニオン置換による複合アニオン化合物の電子機能制御」

13:35-14:50 東京工業大学 山本隆文

「超高压下における酸水素化物の性質」

14:50-15:05 分子研 竹入史隆

「複合アニオンを活かしたヒドリド導電体開発」

休憩

15:20-15:35 学習院大学 稲熊宜之

「複合アニオン化合物の合成、化学結合の理解および新機能の創出」

15:35-15:50 北海道大学 鱒渕友治

「 BaCN_2 融液を用いた BaTaO_2N 強誘電体微結晶の作製」

15:50-16:05 物質・材料研究機構 辻本吉廣

「新規酸硫化物の合成と磁気・光学特性」

16:05-16:20 東北大学 南部雄亮

「中性子を用いた複合アニオン化合物研究：構造から励起へ」

16:20-16:35 東京工業大学 村上泰斗

「機能性複合アニオン酸化物の構造と物性」

16:35-16:50 北陸先端大 本郷研太

「複合アニオン化合物系の合成・探索・解析に向けての計算材料科学的アプローチ」

16:50-17:00 閉会挨拶

参加希望の方は 12 月 27 日までに、NIMS・大久保 OHKUBO.Isao@nims.go.jp まで氏名・所属・連絡先（TEL・e-mail）を連絡してください。